※令和３年度以前入学生用

学校番号	２１４

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店出版）						
副教材等	Active Sports（大修館書店出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

２　学習の到達目標

・心と体を一体として捉え、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で生かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り適切に判断する能力を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考判断	c：運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。 結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。 公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。	知識を活用し、技能向上につなげる。 自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。 運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。	記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。	運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。
評価方法	授業態度の観察 学習ノート レポート など	学習ノート レポート 体育理論のワークシートなどの成果物　など	技能観察 学習ノート など	学習ノート レポート など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	球技(ネット型)	球技:ネット型 テニス 男子	○	○	○	○	a:お互いのミスをカバーし合いながら連帯感を深め、テニスの学習について積極的に取り組もうとしている。また、練習や試合の際に審判などの役割を引き受け責任を果たそうとしている。 b:技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘し合いながら、テニスを継続して楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。 c:サービスでは，ボールを狙った場所に、ストロークではボールを相手側のコートの空いた場所や狙った場所に打ち返すことができる。 d:局面ごとに適切な技術がある事を理解し、課題解決のために練習方法を見直したり，新たな課題を見つけている。	受講態度の観察 レポート 技能観察
		球技:ネット型 バドミントン 女子	○	○	○	○	a:シャトルが生み出す独特の飛行とスピードの変化や勝敗を競い合うバドミントンの楽しさや喜びを味わえるようグループにおける自分の役割を果たし、協力して教え合い、審判の判定や指示に従い勝敗や結果を受け入れようとする。 b:ペアや個人の能力に応じた課題を設定し、その課題を解決するための適切な練習の方法を選んだり、見つけたりするとともに、相手との攻防に合った作戦を立てたり、練習やゲームの仕方や新しい課題を見つけたりする。 c:ペアや個人の能力に応じてバドミントンの特性に応じた技能を身に付け、ゲームをすることができる。また、各フライトやサービスなどの技能を高め、新たに身に付けた技能で攻防を展開することができる。 d:バドミントンの技能の構造や練習方法、計画の立て方、バドミントンに必要なルール、審判法及び競技大会の企画・運営の仕方について書き出したり、具体例を挙げたりしている。	受講態度の観察 レポート 技能観察

※令和３年度以前入学生用

1学期	球技(ゴール型)	球技:ゴール型 男子 ソフトボール	○	○	○	○	a:練習での技術向上や試合に積極的に取り組むことができる。 b: チームや自分の能力に適した課題解決を目指して練習方法を工夫し,技能の程度に応じた作戦を立て,ゲームの仕方を見直したり,新しい課題を選んだりしている。 c: ボール投げる、取る、打つなどの必要な基礎技能が身についている。 d: 攻撃側と防御側とに分かれ,攻防を交替しながら得点を競う野球型のゲームの特性、ルールを理解できている。	受講態度の観察 レポート 技能観察
		球技:ゴール型 女子 ハンドボール	○	○	○	○	a:球技の学習に積極的に参加し、フェアプレイを心掛けて取り組んでいる。 b:ボール操作等の技術を身につけるための運動の行い方や練習のポイントを見つけている。 c:フリーの味方を見つけてパスをする事ができる。パスやドリブル、シュートなどハンドボール競技に必要な基礎技能が身についている。 d:ハンドボールの特性や成り立ち、高まる体力について学習した具体例をあげている。	受講態度の観察 レポート 技能観察
2・3学期	選択体育	選択制体育 男女 バドミントン・卓球・ソフトバレーボール・サッカー・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・フリスビー・硬式テニス・ソフトテニス 以上の種目より選択し ２学期後半に再度選択種目を変更する。	○	○	○	○	a:リーダーとして班をまとめ、指示を出すなど、主体的に取り組み、運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 b:事前に学習しておいた知識を活用し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための計画を考えることができる。 c:運動の合理的な実践を通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。 d:運動の技術の名称や行い方、練習の仕方、その種目の歴史、文化的特性などにについて理解している。	受講態度の観察 学習ノート レポート 技能観察

※　表中の観点について　a: 関心・意欲・態度　b: 思考判断
c: 運動の技能　d: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。